

2020 SPリーグ 開催要項

- 開催期間：2020年4月開幕11月末くらいまで
- 参加校：代田・千歳台・松沢・山崎・上北沢・若林・代沢・明正
- 参加費：1チーム3,000円(優勝チームへの賞状・副賞、前年度優勝チームにレプリカトロフィー、オールスター戦での賞品等)

運営・ルール

【運営】

- 各チーム2試合総当たり戦の1チーム計14試合とする。(総試合数56試合)
- 最終順位は勝ち点制とし2連勝=3点、1勝1敗=1点、2連敗=0を付与する。
- 優先度は①勝ち点>②勝率>③該当チーム同士の対戦成績の順とし3つの条件とも同率の場合プレーオフを別に設ける。(ただし優勝決定戦のみ。)
- グラウンド利用開始時間から20分後を試合開始時間とし、遅刻等メンバーが揃わず試合を行えない場合は不戦敗とする。(不戦敗によるスコアは0対7とする。)
- 先攻・後攻は1試合ずつ予め組合せと同時に運営側が決める。
- 組合せ発表後の対戦延期・変更の申し入れは受け付けない。都合の悪い日にちがある場合は毎月運営側が定める期日内に連絡すること。

【イニング・試合時間・勝敗】

- 1試合5イニングとする。(×ゲームあり)
- 試合時間に制限を設けながグラウンド利用時間内に終わらない場合はその時点でゲームセットとし成立しているイニングに遡って勝敗をつける。(同点の場合は再試合とする。)
- 5回終了時同点の場合は延長とし6回以降タイブレーク方式を繰り返し決着を付ける。タイブレークは1アウト2・3塁からはじめ打者は継続打順とし、走者は前イニングの最終打者が2塁・最終打者前位者を3塁ランナーとする。
- 試合開始後、悪天候により試合継続が困難になった場合、3回裏を経過していればコールドゲームとし試合成立とする。(同点の場合は再試合とする。)

【用具】

- 公認3号球を使用し、試合球を毎試合両チーム2個ずつ新球もしくは同等のものを用意すること。
- 3号バットは、JSA(日本ソフトボール協会)公認のものであれば制限を設けない。
- 捕手は必ずマスクを使用すること。
- 金属スパイク及び凹凸の鋭いスパイクは禁止とする。

【攻撃】

- 打順は参加者全員が打席に立つものとし固定すること。(例えば14人いれば14番まで。また遅刻者がいた場合は最終打者にすること。打者一巡している場合は二巡目の最終にすること。)
- フォアボールは有り、デットボールは無しとしボールとしてカウントする。
- 離塁は世小Pに準じ打者がバットに当たってからとする。離塁違反は走者アウトとする。
- 飛球によるタッチアップはどの塁からでも行える。
- 代走は不可とする。但し、ケガの場合や対戦相手の了解があった場合は認められる。
- スライディングはケガ防止の為ありとする。
- 世小Pで採用されている2ストライク後のファールアウトは適用なしとする。

【守備】

- 守備選手の交代は、随時行える。(一旦ベンチに下がった選手が再度守備につくことも可)
- 投手交代は随時行える。(一旦ベンチに下がった選手が登板することも可)ただし同一イニング中に一度降板した投手が再び登板する場合は投球練習はなしとする。
- 投手の投法は世小Pに準じ手を肩より上に上げることを禁止とする。
- 投球練習は試合前(初回)及び投手交替時は5球、イニング間は3球とする。
- 打者が打たなかった場合はボールデットとなり、捕手のパスボール及び投手のワイルドピッチでの進塁は行えない。
- 捕手によるホームベースブロックを禁止し、もし行った場合はコリジョンルールを適用する。
- インフィールドフライは世小Pに準じ適用しない。

【その他】

- やむを得ず助っ人を入れる場合、SPリーグ参加校以外の学校から2名まで入れることができる。その場合は打順は最終打者にしなければならない。またポジションは世小Pに準じ投手、捕手以外にしなければならない。また助っ人を要請して当日メンバーが揃った場合は自チームのメンバーを優先して守らせなくてはならない。相手チームへは助っ人を入れる旨を前日までに了承を得なければならぬ。
- 先生以外の若手を起用する場合は親子で同時参加かつ開幕組合せ前までに事前に運営側に申告したものを1名だけ認める。(子供のみの参加は不可とする)この場合、助っ人枠の1名とみなす。
- 当然のことですが審判への暴言、相手チームへの罵声などラフプレー等ないこと。
- 他チーム試合の審判を率先して引き受けて頂きますようご協力お願いします。